

# シルバー さんむ

## 第10号 平成27年5月

公益社団法人  
山武市シルバー人材センター  
〒 289-1514 山武市松尾町松尾47-3  
☎ 0479-86-6616  
FAX 0479-80-8280 メール sammu@sjc.ne.jp  
HP <http://www.sjc.ne.jp/sambu/>



### 独自事業『いきいきクラブ』

#### 本格始動！

板中新田（山武地区）の畑でじゃがいもの植付けをしました。  
4月上旬、無事に発芽し、これからの成長が楽しみです。この広報がお手元に届く頃は、花が咲いているかも？



#### 編集後記

青葉薫る新緑の季節となりました。広報シルバーさんむの新春号に引き続き繊細な透明感のある第十号が出来上がりました。肌寒い日々が続いたなか健康で就業できる元気なことはありがたいことです。

この度、独自事業の「すみれサークル」に続き「いきいきクラブ」が新しい事業として加わりました。山武市板中新田の広い農地でじゃがいもの植付等もして楽しみの事業になりそうです。普段の生活から水分不足になりがちになります。作業や運動、外出の前には水分補給に努めましょう。だんだんと気候もよくなってきました。

会員の皆様、ますますご活躍ください。

広報委員 鈴木なつ

会員登録更新説明会

及び地域班懇談会

二月に各地区において、平成二十七年度会員登録更新説明会及び地域班懇談会が開催されました。今回の各地区出席者は・・・

- 成東地区 一〇一名 山武地区 九〇名
松尾地区 六三名 蓮沼地区 二八名



山武地区更新説明会の様子

雑学 俳句と短歌

俳句のことを現代の人は咄嗟の歌という。短歌のことを昔の人は叫びという。俳句も短歌も日本で生まれた文学である。歌一首の中には、作者の感情が込められて、ひとつのものでも観察感によって見解の相違があつて、言語表句法によって表現されたものに批判されるべきではないかと思う。だから、物の見方によって多少の拡大表現は許されるべきだと思う。

古き世の 歌は人の 真心なり
後の世の 歌は人の しわざなり
叫びとは、人と人の同好者の集いがあれば尚一層発展するのではないのでしょうか。俳句を詠まれる方は、よく切れ字は良くないと申しますが、この切れ字一文字が謎を秘めていると聞かされれば、興味が倍増されるから納得できるのではないのでしょうか。昔の俳人の作品を見るとたくさんあります。

- 夏草や 兵どもが 夢の跡
閑さや 岩にしみ入る 蟬の声

この二句には「や」という切れ字が入っています。昔の歌人の話によると〇〇〇〇や、で一息いれて七文字、五文字を詠むとその情景が浮



松尾地区地域班懇談会の様子

しかし、約七〇名の方は事務局での受付でした。この会員登録更新説明会は「公益社団法人山武市シルバー人材センター会員入退会取扱要綱」第六条会員登録更新にも記載されているとおり、次年度も会員になる方は登録更新説明会に参加し、調査票を提出することとなっています。「会員ガイド」を基に、シルバー事業などを説明する大切な会合ですので、地域班懇談会も含めて、次回は全員の出席をお願いします。

かんでくるといいます。次の句を詠むと何の気になるほどの作品ではないとの話ですが、この歌は現代の句作りの基礎になるものが含まれているといふのです。

- 菜の葉や 月は東に 日は西に
古井戸や 蚊に飛ぶ魚の 音くらし

前句二句は芭蕉、後の二句は蕪村の句です。芭蕉の句には謎が秘められているという噂で隠密らしいという職業も兼ねていたらしいと聞けば、うなずけないこともない。後者の蕪村の歌は、何の変哲もないと思われるかもしれませんが、現代句には欠かせない写生句なことが多い句作りの基本的なものを感ずるということを知りました。

- 草笛に ふるさと出づる 詩人の
夕の空に 里の秋吹く
詩の道 一歩歩めば また楽し
集いの院はるか 幾山河ありし



設立十周年記念事業実行委員会の設置

山武市シルバー人材センターは、平成十八年に三町一村(成東町・山武町・松尾町・蓮沼村)のシルバー人材センターが合併し、平成二十八年に設立十年を迎えます。それを記念し、平成二十八年四月に記念事業を実施することとなり、会員及び理事と事務局で構成した「設立十周年記念事業実行委員会」を設置しました。現在、月一回の委員会を開催し、記念式典、記念誌班に分かれて協議を行っています。各委員は、以下の十四名です。(任期は記念事業終了まで)

- 委員長 小川 憲治(会長)
副委員長 津久井知世(事務局長)
委員(理事) 星久木義雄(松尾)
長島 良雄(山武)
河野 大治(成東)
委員(会員) 長谷川祐剛(成東)
入江 利子(成東)
戸村 茂昭(成東)
布留川かつ(山武)
並木 ノブ(松尾)
川島 房枝(蓮沼)
委員(事務局) 藤田 進久
今井富士男
小林千代美



撮影日は河野、並木欠席

※記念誌を発行するにあたり、設立時からの写真を探しています。会員の皆様さんでお手元がありましたら、事務局迄ご連絡願います。ご協力お願いいたします。

俳句

- 花を添え 線香たむける 彼岸なり
梅が咲き 匂い競いし 沈丁花
亡き父母に 詫びと感謝の 墓参り

- 宵闇に 白木蓮や 道しるべ
飛鳥山 狐花見か コンと舞い
雪解けの 水が弾けて 美しき

短歌

- 指降りて 歌作はじめて 七十年
恩師より届く賀状 一句添え
桜見ず 逝きし友あり 早一年
今年も咲ける 糸桜寺

※訂正とお詫び

前号に掲載の次の俳句に誤植がありました。申し訳ありませんでした。
年金を 速歩でくらす 里の秋
年金を 歩幅でくらす 里の秋

山武歴史探訪

埴谷 妙宣寺と鍋冠日記

(本稿は、元成東高校歴史教諭 大塚洞元先生が成東高校生徒会誌「九陵」に記載なされました「山武郡歴史散歩」からの抜粋です)

埴谷は旧陸岡村の中心、戦国時代埴谷氏が城郭を構えたところ、近世は銚子から江戸に通じる宿場。埴谷杉の良材を産し、木挽職や埴谷建具で聞こえた職人の街で知られる。しかし甚だ独断に過ぎるがこの地の歴史は遠く古墳時代に遡るよう思えてならない。技術をもった人、乃至その集団が、武社国造に招かれてこの地に来、古墳や埴輪の制作に当たった。そうした人々の住みついた場所、それが埴谷であるように思えてならないのであるが、想像は禁物、識者の見解をお伺いしたい。埴谷の宿につき当たり、県道を左にとり北西に進んで程なく右手、妙宣寺山門前に至る。左手の丘陵地が埴谷氏居館の跡である。埴谷氏は千葉氏の分流であり、胤継・景正・義重・義継と、代々埴谷大丞を称してこの地を領したが、応永二十四年(二四二七)の上杉禪秀の乱が永く両総の台地を動乱にさそい、埴谷氏もこの乱に巻き込まれ義継の代をもって滅びた。義継の子、日国・日親の幼い兄弟が叔父日英を頼って出家したのはあたかもこの頃である。喜連川判鑑に見える由比ヶ浜で誅

された埴谷小太郎という人も或は日親たちの長兄ではあるまいか。妙宣寺山門を進めば、樹齢三百年を超えるかと思われる枝垂桜の老木が往時を語りたげに我らを迎える。



この寺、もと真言宗であったが前出の日英が中山法華経寺から帰ってこの寺に入り日蓮宗に改宗した。日英の師、法華経寺の日常は日蓮の直弟子であるから日蓮の孫弟子である。出家し

第八回さんむ市民活動フェスタに参加

二月二十二日、成東のぎくプラザにおいて、「さんむ市民活動フェスタ」が開催され、当センターも初めて参加しました。このフェスタは、「知りあおう・つながろう・活かしかおう」をテーマに市民活動を広く知ってもらい、交流を行うことが目的です。実行委員会でご団体からアイデアを出し合い、準備し当日を迎えました。あいにくの雨となりましたが、パネル展示やリーフレット配布、FMさんむのインタビューでシルバー事業の紹介や、すみれサークルの小物販売を行いました。また、目玉企画の紙飛行機コンテストでは、飛距離を図ったりするスタンプでお手伝いをしたり、来場した市民の方だけでなく、参加団体との交流を深めることが出来ました。

今年度の職群班班長の紹介

- 植木
  - 成東1班 谷上 緑
  - 成東2班 竹中 康憲
  - 成東3班 今関 清澄
  - 成東4班 木村 正明
  - 山武1班 須江 康夫
  - 山武2班 小倉 朗
- 草刈
  - 成東1班 古川 光男
  - 成東2班 葛西 米春
  - 成東3班 菊池 勝之
  - 山武1班 須江 康夫
  - 山武2班 鈴木 巽
  - 山武3班 岩崎 正利
  - 松尾1班 竹内 衛
- 草取り
  - 蓮沼1班 川島 松枝
- 軽作業
  - パトロール成東 石井 一郎
  - パトロール山武 藤井 正美
  - パトロール松尾蓮沼 林 勝允
  - ドン・キホーテカート回収 河井 英一
  - 処方箋受付 安田 清
  - さんむ医療センター駐車場整理 三岡 憲二
  - 日向駅駐輪場 木川 哲男
  - 水質検査 山浦 隆次
  - 成東運動公園夜間管理 河野 大治
  - エクセルシオール清掃 戸村 良子



班長はじめ班員の方々のご協力をお願いします。

第三回新春芸能発表会

一月二十四日、蓮沼スポーツプラザしおさい館において、開催されました。来場者は出演者も含め百人以上となり、シルバー人材センターは、就業だけではなく、生きがいや仲間づくりの場であることを宣伝できました。今回は発表会の司会者、河野理事に感想をお願しました。(出演者は8ページ参照)

司会者

河野大治



新春芸能発表大会も、今年で三回目となり、近隣センターもوراやむほどの規模となりました。カラオケを中心に多くの出し物がステージを飾ります。芸達者が多いのに感動です。笑顔あふれる濃密な時間が刻まれていきます。客席では、多くの会員やその知人が、女性部会の皆さんが心を込めて用意してくれた「おもてなし」を頂きながら、惜しみない拍手を送り、舞台を盛り上げます。昼食時には軽食も用意されました。さらに、最後の楽しみとして抽選会もあります。これで無料とは、驚愕の「おもてなし」です。出演者や来場者が、右肩上がりになるのも納得です。いまだ足を運んだことのない方々、必見の価値ありますよ！来年は、誰とどんな出逢いがあるのでしょうか。今から楽しみです。



### 独自事業「いきいきクラブ」発足

当センターの二つ目の独自事業として、農業の耕作を目的に、二月発足しました。独自事業とは・・・

地域にセンターの存在感を示すこと

会員の相互信頼及び協調性を高めること

会員の就業機会の場を拡げること、等

会員の皆さんが自主的に事業に参加をし、運営

までを行う人とのつながりを基調とした、ボランティア性の高い事業です。

①説明会開催



独自事業に興味のある多くの会員が参加し、みんなで意見を出し合って、名称は「いきいきクラブ」に決定！

耕作する野菜は、じゃがいも・さつまいも・落花生に決まり、まず

は、じゃがいもを手始め

に種まきの日程、この事

業を引っ張ってくれる、

リーダーが決まりました。

リーダー 川島 勲男  
副リーダー 石田 幸雄

伊藤美佐子  
渡辺 しげ



### ②種まき前の畑づくり(二月二十四日) 耕運、施肥



### ③じゃがいも種まき(三月六日)

成東地区も含め、二十一名の会員さんが集まってくれました。リーダーの川島勲男さんより、今日の作業の説明(種イモの切り方と



テーブルは会員さん手作りです



みんなの力で60\*の種イモがあつと言う間に植え付け完了

植え方)のあと、「北あかり・メイクイーン・わせじろ」をカットし、畑に植え付けました。



### ④畑作業を円滑にすすめるため、畑へ続く道を整備(三月十三日)



### 「すみれサークル」活動

#### 初年度を終えて

女性会員の独自事業「すみれサークル」は、初めての年度末を迎えました。当初は、ガーゼ手ぬぐいの帽子やクラフトテープの小物、千代紙を使ったはし袋を作っていました。会員さんからの要望で農作業や草取りで使う、手さしを作ったり、アイデアを出し合いながら活動しました。月二回の活動は、おしゃべりをしながらの作業で、毎回楽しく、みなさんすっかり仲良しになりました。作るだけでなく、福祉まつりなどの販売にも積極的に参加をしました。参加できない会員さんには、品物を購入する形で協力をいただき、ありがとうございます。

今年度も「すみれサークル」の活動を通して女性会員さんの輪がもっとと広がり、シルバー全体を女性パワーで盛り上げていければと思います。(担当 高林)



すみれサークル販売品	
ガーゼ帽子	400円
手さし(長め)	300円
(短め)	200円
クラフトかご	200円
クラフト帽子	100円
(飾りもの)	
祝いはし袋	200円
※事務局で販売中	



### 発注者の声

有限会社 鈴健テック 鈴木

まだ寒い二月、手不足、力不足の折、SOSを求めて山武市シルバー人材センターさんに駆けつけさせてもらいました。

最初はスタッフの方々も少ない、とのことでしたが、何かと軌道に乗せて頂き本当にありがとうございました。担当の関谷様より、早々にシフト表を頂き、あふれる熱意と工夫をくださり、また、どんなに疲れていても会員の皆様は風の中、雨の中、頑張ってくれてありがとうございます。助けてくれてありがとうございますの一言です。

この二月二十六日〜三月十一日にてすべての工事が終了し施工主様へ引渡し完了となりました。最後にセンター様のますますのご発展と会員の皆様の御健康を祈念し挨拶にかえさせて頂きます。本当にありがとうございます。



(有)鈴健テックさんから発注して戴いた太陽光発電設備の設置作業は、当センターでの最初の派遣事業となりました。当センターでは、派遣事業をこれから推進していこうとしていた矢先の事業で、この(有)鈴健テックさんからの事業を通じて派遣事業の進め方など当センターにおいても意義ある事業でありました。

一緒にお仕事する会員さんを募集しています。



夏休みの時期に、海岸付近での仕事の依頼が昨年より増えており、就業をお願いする会員さんが不足しています。一番の宣伝効果は会員さんの口コミです。ちなみに、昨年度の入会者で、入会のきっかけが「会員の知人」の方は、四分の一になり、以前に比べると増加傾向となっています。

皆さんのお友達・お知り合いを誘っていただき、一緒に仕事をしませんか？

毎月第二木曜日に入会説明会を行っています。詳しくは、事務局まで連絡してくれるようお願いください。